

法人（事業所）理念		愛、感謝、笑顔で素晴らしい対応と優しさ					
支援方針		障がいのある児童や、発達に問題を抱える児童に対して、日常生活における動作や集団生活に適応できるよう、個人の特性に応じて適切にサービスが提供できるよう努める。利用する児童の医師及び人格を尊重し、本人の立場に立った支援を提供する。					
営業時間		10 時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	事業所に楽しく通うことができるよう、職員は信頼関係の構築に努め、情報を共有し、児童にとっての居場所づくりを継続して行う。食育の面でも、苦手な食べ物（野菜等）でも、畑の収穫体験や、調理の工夫で、敬遠していたものが「食べることが出来た」となれるよう、「できた」が増える取り組みを行い、日常の生活の質の向上を図る。					
	運動・感覚	事業所内の集团的活動では、風船リレーやなわとび、サーキット運動等、身体の発達となるような活動に取り組みます。また、毎月の外出企画にて、雪遊びやプール遊泳等、感覚的に楽しめるような季節の外出を行う。					
	認知・行動	集団の活動では「ルールを守る」「話を聞く」「順番を待つ」ことを練習する。必要に応じて、個別的に児童それぞれに声掛けし、理解がしやすいようにはたらきかけることを継続して実施する。					
	言語コミュニケーション	「できた」ことに対しての肯定的な声掛けを行い、円滑で良好なコミュニケーションがとれる関係性となるよう支援する。言語聴覚士による個別の言語療育や、専門職の目線での支援を事業所内で共有し、言語能力の発達を支援する。					
	人間関係社会性	事業所内の活動ではSST（ソーシャルスキルトレーニング）を定期的 to 実施し他者との良好な関係性の構築を支援する。また、法人内の他の通所事業所や高齢者施設と連携し、異年齢児童や高齢者との交流を積極的に行い、社会性の向上を身につける。					
家族支援		毎回の送迎時にはサービス利用中の様子を報告し、「できた」ことをタイムリーに伝える。連絡帳を活用し、スケジュール等の発信、またSNSメッセージのやり取りを用いて、体調不良等ある場合は迅速な連絡に努めている。			移行支援		学校や園の各機関と情報共有・連携行い、包括的支援を行い、課題を認識し解決に向けて取り組む。
地域支援・地域連携		地域行事への積極的な参加（区内福祉事業所合同開催行事等）を通じて、より良い地域支援につなげる。また、区内のこども部会等に参加し、情報共有・関係づくりに努める。			職員の質の向上		法人全体での取り組みである、優しさを伝える技術「ユマニチュード」を用いてケアにあたり、職員から児童への伝える力を養う。
主な行事等		毎月の外出行事では季節を感じることが出来るような企画をしている。雪遊びやプール遊泳、果物狩りや野菜の収穫等、様々な体験から良い刺激を受け、発達の促進になるよう取り組む。法人内通所事業所と合同にて行う「運動会」や、児童が主体となってお店をする「秋祭り」で、保護者にも児童の輝く姿をみてもらえるよう企画をしている。					